

かぞぐるま

ひと 未来 輝いて



エリアフリー・フォーラム2006

《夢のまんま。音楽祭》からのメッセージ

障害者自立支援法への移行

全国福祉QC発表会 はばたき賞受賞

トピックス

庄内障害者就業・生活支援センター「かでの」紹介

北海道・東北ブロック社会福祉事業団職員研究発表会に参加して

介護（援助）事故の公表基準の策定について

レキシコン

介護施設等の在り方について

NO. 81
平成18年12月15日

エリアフリー・フォーラム2006

夢のまんま。音楽祭 からのメッセージ

平成18年11月23日(祝)東北芸術工科大学体育館を会場に、500人近くの方々からご来場いただき、エリアフリー・フォーラム2006《夢のまんま。音楽祭》が行われました。

今回の特集では、音楽祭の様様を心に残った出来事を交えながら報告したいと思います。



1 エリアフリー・フォーラムとは

「バリアフリー」は聞いたことがあっても「エリアフリー」は聞きなれない言葉だと思います。フォーラム開催の主旨と名前の由来について説明します。

エリアフリー・フォーラムは、平成11年から開催されているフォーラムで、今年の音楽祭が8回目にあたります。開催にあたっての基本コンセプトは、障がいのある当事者が障がい種別をこえて互いに立場を理解しあい、意見や考え方を自らが発表していくことでエンパワメントを高めていくことです。バリアフリーの「バリア（障壁・妨げ）」はなぜ生まれるのか、私たちはその根源を「エリア（領域）」と呼ぶことにしました。「エリア」には、地域や面積という意味のほか、活動などの範囲や領域という意味があります。すなわち、自分の住む地域や活動領域、そして障がいの種別をこえて力を高めあい、かけがえのない人生を「自分らしく生きる」という目標を、フォーラムでの交流を通して確認していくことにしたのです。

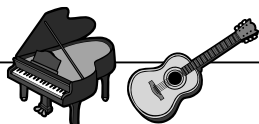
2 最近のエリアフリー・フォーラム

過去2年のフォーラムは下表の内容で開催しました。なお、フォーラムの中心となる実行委員会は施設利用者、在宅の障がい者の方々などが中心となって組織されています。

エリアフリー・フォーラム2004 ～さあ!思い切ってでかけてみよう やさしい旅への提言～ 平成16年11月6日(土) ウェルサンピア山形	①講演会：テーマ「旅は最高のリハビリテーション」 講師：もっとやさしい旅への勉強会代表 草薙 威一郎氏 ②シンポジウム：「やさしい旅への提言」 ③意見交換：わたしにとっての旅・夢 ④交流会	山形県、 事業団 ・小冊子「たび じろう」発行
エリアフリー・フォーラム2005 ～チャレンジ!スポーツ 平成17年11月26日(土) ホテルキャッスル	①講演会：テーマ「スポーツが教えてくれたもの」 講師：アテネパラリンピック水泳競技金メダリスト 成田 真由美氏 ②実演(紹介):チャレンジ!スポーツ ③分科会「私にとってのスポーツ」 ④パネル展示・体験コーナー ⑤交流会	山形県、 事業団 ・小冊子 「スポぞう」発行

3 《夢のまんま。音楽祭》の特徴

フォーラムは年々その内容にも広がりを見せ、地域住民の方々からの参加も得ながら今年は「信じよう!音楽の力、伝えよう!君の想い!」をテーマに開催しました。なお、音楽祭は2部構成、ステージ場所を2か所設置して行われました。



特徴その1 山形交響楽団による特別演奏

地元山形県に交響楽団があることは、とても誇れるものです。その山形交響楽団の生演奏、しかもフルバンドでの演奏が実現しました。(演奏プログラムも特別な内容で設定していただきました。)

特徴その2 世界でひとつだけの歌の発表

県内在住の障害のあるの方々から事前に歌詞を募集しました。応募総数は20人、23作品が寄せられ、その中から5作品を選定し、作曲・編曲を経て当日県内で活躍するコーラスグループやバンドによる発表が行われました。そして、ひとつひとつの作品にそれぞれのドラマがあることを知りました。

特徴その3 日ごろからの音楽活動を発表する「集まれ音楽仲間」

山形県第1号の盲導犬マース号を歌にした武田英司（フォーラムの実行委員）さんの作品発表、そして山形県リハビリセンターの皆さんからは、平成14年センターに天皇陛下がお出でになられた時に演奏された曲とオリジナル曲の2曲の演奏をしていただきました。

特徴その4 エイブル・アートの作品展示

「可能性の芸術」といわれる障がいのある人たち3人の芸術作品（絵画・陶芸）を展示しました。どの作品も展覧会や個展で高い評価を得ているもので、来場された方々に多くの感動を与えてくれました。

**4 「世界にひとつだけの歌」が教えてくれたもの**

『人、すてきな出会い・・・』

「世界でひとつだけの歌」には、県内各地の障がいを持つ方たちからたくさんの詩が、集まってきました。その中から5編が選ばれ、それらに音楽仲間が曲を付けました。詩に込められた思い、それを汲み取る作曲者、絶妙な組み合わせで、世界でひとつだけのすてきな歌ができあがりました。

「夢のまんま。音楽祭」でたくさんの方との出会いがありましたが、特に印象に残った方の紹介をします。

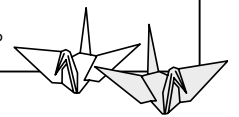
齊藤毅さんは、2度大病を患い、言葉を失い右半身マヒになり、ベッドに臥していたことがありました。病前、書道家だった手は、字を書くこともできなくなりました。

でも、齊藤さんは、あきらめませんでした。○を書き続け、×△を書き続け、いろは～を書き続け…長い忍耐と努力の日々の後、書いた文は「お母さん、毅は元気です。」それは、宮城県之母・姉さんにあてた手紙の文頭の言葉で、心配をかけたお母さんへ一番伝えたかった言葉です。

その日から、齊藤さんと宮城県之母・姉さんとの手紙のやり取りが始まりました。そしていつしか、お姉さんからの手紙には折鶴が一羽ずつ入ってくるようになりました。毎日々手紙は続き、記念の日には、金の鶴も舞い込みました。そして、なんとその鶴が11月23日、まさに「夢のまんま。音楽祭」の日に千羽となりました。この奇跡的な偶然は驚きでしかありませんでした。

今、齊藤さんは、流れるようなきれいな字を取り戻しました。おまけに右マヒがあったため、左手でも字を書き続けたので、左右両手で書けるようになったのです。齊藤さんにとっては淡々と継続してきた結果なのですが、「人ってすごいんだなあ！」と人間の力強さを実感させられました。

最後に、この齊藤さんを支えたのは、齊藤さんの強い「意思」はもちろんですが、それよりも何よりも、母・姉さん、ご家族、言葉の翼の仲間みなさん等のまわりの温かな「人」なのではないでしょうか。

**5 これから・・・**

障害者自立支援法が施行され、地域社会の様々な場面で自立を目指した動きが出てきています。

障がいのある当事者の方々もそして事業者も今は「自己負担」や「経営」といった現実問題に目を向けがちですが、障害者自立支援法は社会そのものを変革する大きな一歩であるという見方もできるはずです。この法律が機能しないとすれば、日本という国がまだまだ福祉社会として、そしてノーマライゼーション社会として成熟していないし、豊かな国ではないことを示しているといっても過言ではないのかもしれませんが。

フォーラムでは、これまで障がいのある人たちの差別や偏見をなくし、社会参加の実現や権利擁護の重要性を訴えてきました。「旅」や「スポーツ」そして「音楽」を通して伝えてきたもの、それは「1」対「9」の関係をなくすことでした。障がいのある人の人口が1割、健常者が9割とするなら、障がいのある人たちの問題は、いつまでも一部の人たちのものでしかない。この数の論理をこわしてくことが求められているのです。

その意味で、私たちはいろいろな活動分野で今まで以上に自分の想いを伝えていく時を迎えているのかもしれませんが。 ～想いはとどく 願いはかなう 夢のまんま。～



障害者自立支援法への移行

障害者自立支援法の施行を受け、旧デイサービスセンター及び地域生活援助事業(グループホーム)等が、平成18年10月1日に新事業体系に移行しました。

なお、施設本体は、現在旧法施設支援で事業を実施しており、今後利用者の状況等を勘案し、県と協議のうえ経過措置期間内に移行するよう検討します。

旧
デ
イ
サ
ー
ビ
ス
セ
ン
タ
ー

希望が丘
まつかぜ荘デイサービスセンター
(川西町大字下小松) 定員15人



希望が丘
デイサポートまつかぜ
①指定生活介護事業所 (定員15人)
②指定生活訓練事業所 (定員6人)



創作活動中の一コマです。(心の表現を大切に、画材も、おもいのままに…)

「障害者自立支援法」という新たな羅針盤での事業開始から早3ヶ月、季節は冬へ、そして師走の慌ただしさに押されるように新年へと、ご利用の皆様からお力をいただいて、櫓を進めています。

振り返れば平成15年4月、支援費制度のスタートとともに、県内で2箇所目となる知的障害者デイサービスセンターとして歩みを始めました。資源そのものが少ないなか、置賜地方を広くカバーする営業と、乗馬療法、音楽療法や表現活動等の専門スタッフによる活動メニューの提供は、独特で充実したものと自負しております。

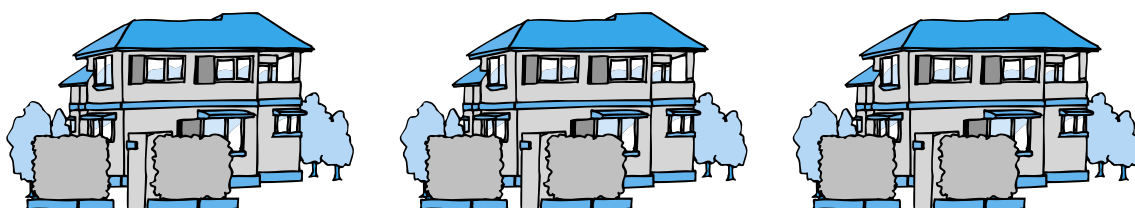
新事業では、広域性と特色あるメニューを受け継ぎ、生活介護と自立訓練(生活訓練)の多機能型事業所として再出発をしています。現在、前者のサービスで契約ご利用の方は21人、後者は11人の状況です。皆様にとっては、一日一日がその人らしく生活する上で、とても大切な時間です。私共スタッフはそのことを心に刻み、“一人ひとりが何を望んでどんな自分でありたいのか…”を、一緒に見つけて近づく手助けができればと考えています。

本来なら皆様のお住まいの街なかで、地域の方々にも支えられて根を下ろしたいのですが、ここは自然の真只中です。折々の恵みを受けての活動は、ここならではです。「まつかぜは安全・安心・満足」どうぞこれからもよろしく願いいたします!! (総合コロニー希望が丘 デイサポートまつかぜ 緒形 純夫)

グループホームを共同生活援助・共同生活介護事業所へ再編

事業団では、これまで知的障害者グループホーム23か所、精神障害者グループホーム5か所、合計18か所(入居者定員124人)のグループホームを経営していましたが、10月1日の障害者自立支援法の施行を受け、それぞれ共同生活援助・共同生活介護事業所に移行し、事業所数8か所、住居数30か所、利用定員148人に再編いたしました。

これまでは、一つひとつの住居が独立したグループホームの事業所



ワークショップ明星園
 デイサービスセンター
 (山形市長町) 定員10人



ワークショップ明星園
 生活介護事業所

①指定生活介護事業所 (定員10人)

「障害者自立支援法」の名のもと、明星園デイサービス事業は10月より新しい制度に突入し、新たに「生活介護事業所」として出発しました。

支援費制度が開始された平成15年度当初、身体障がい者のデイサービスの事業所は山形市内の北部に集中していました。そのため南部の方々や、指定区域以外の方々の相談にも応じ、柔軟な利用体制に向けての努力を行ってきました。さまざまな課題も、利用者の方々と時間をかけた話し合いを軸に、職員の話し合いの中で解決策を見出し、その充実には新事業にも反映されています。『設定されたプログラムの中で活動を展開していくことと同時に、個別の希望を取り入れ可能な限り支援していく』という基本姿勢は、自立支援法になっても変わることのない、また利用者の方々に好評いただいている姿勢のひとつです。

新事業の体制になり、実際のところ「この法律ができてよかった」という声は本当に少ないのが実情です。しかし始まったばかりのこの制度を嘆いてばかりいては、その法律の本来の意義から遠ざかってしまいます。丁寧な説明と納得していただくラインはどこであるのか、この部分が重要であり、この激動期に存在している職員の使命であるとも認識しています。

現在の登録者数は29人です。週一回の看護師の配置も実現しました。充実した医療相談も受けられるようになりました。曜日毎の和やかな雰囲気も整い、また、新規の利用者の方も打ち解けやすい空気がゆっくりと流れているように思います。

市内の北部に位置し、周りの環境にも恵まれた当事業所の良さはなんといっても『可能な限りの個別対応』だと思っています。その姿勢を崩すことなく、新体制の中でできうることを検討し、展開をさせていかなければならないと思っています。(ワークショップ明星園 庄司 初穂)



新年会

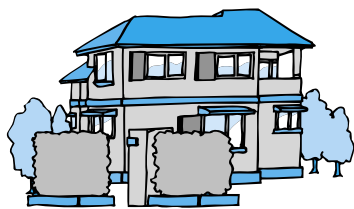


健康運動

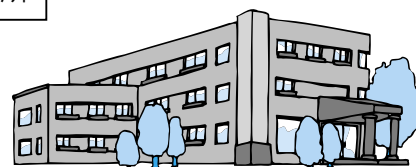
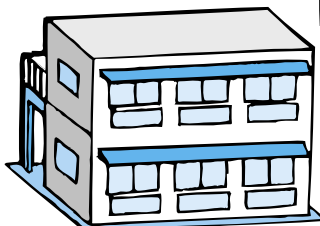
一定の規模での事業所(30人以下)に複数の住居、
 利用者の障害状況等によりグループホーム(GH)とケアホーム(CH)

〇〇〇荘共同生活事業所

●GHとCHの一体型
 定員5人



●ケアホーム
 定員6人



●グループホーム
 定員7人

事業 庄内障害者就業・生活支援センター「かでる」紹介

今年の4月、県内で3ヵ所目となる障害者就業・生活支援センター「サポートセンターかでる」が酒田市に開所しました。

当センターは身近な地域の相談支援事業所として、求職活動や日常の相談に応じ、関係機関との連携を図りながら就業・生活の一体的支援を行っています。

12月末現在で、79人（身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、発達障がい者）の方が登録され、主な相談内容は「就職したい。」「職場での悩みがある。」「生活（健康面、金銭面）で困っている。」などが挙げられます。一人ひとりのニーズや課題に応じて、職業準備訓練や職場実習のあっせん、求職活動（ハローワーク）への同行、生活面の支援など様々な相談に応じています。ハローワークや障害者職業センターなどの関係機関と連携し合いながら、14人の方が就職することが出来ました。主な職種は、清掃員、介護補助、鉄筋工、廃棄物解体及び分別作業、販売員などです。就職

後は人間関係や仕事面で躓くこともあり、悩んだり不安になることもあります。安心して働き続けるために、ジョブコーチ支援やその都度電話や訪問、来所、メールで相談に乗りサポートしています。

10月には余暇活動として、「芋煮会」を行いました。登録者の方同士、連絡を取り合ったり情報交換したりと交流を深めることが出来ました。また、11月には「働く」ことを中心にしたセミナーを開催し、改めて就労支援の重要性、必要性を感じました。

今後は関係機関とのネットワークを構築していき、障がい者の方の「働きたい」という気持ちを大切に、一人でも多くの方が就職できるよう、共に考えながら支援していきたいと思います。



（庄内障害者就業・生活支援センター 小野寺 瞳）

研修 北海道・東北ブロック社会福祉事業団職員研究発表会に参加して

平成18年度北海道・東北ブロック 社会福祉事業団職員研究発表会にて、しらさぎ寮の強度行動障害特別処遇事業での取り組みについて、発表の機会をいただきました。

しらさぎ寮では、平成11年1月に強度行動障害特別処遇事業を受託しました。これまで8人の方（内1人は事業再対象となる）が事業を終了されました。現在、4人の事業対象者の支援を行なっています。3年間の事業終了後の移行先についても、多岐になり、将来的に地域生活を送ることを念頭に、事業を利用される方が増えてきています。

行動障害は二次的・三次的障害であり、軽減できる障害です。しかし、軽減できた行動を再発させることは簡単です。再発させないためにも、関わる人達が共通認識を持って関わること、関わる者は支援を必要とする「その人」・その人の特性を理解して関わること



が必要です。例えば、声がけ1つでも、声のトーンや立ち位置・視線の合わせ方、利用者の体調などで伝わり方は異なってきます。利用者の意思を行動や表情から推測するしかないことは多々あります。その推測を確実なものをして行くためにも、研鑽の必要性を自身自身に感じるところです。

今回のような発表の機会をいただいたことは、強度行動障害への理解を外部に広げること以上に、自分達の行なっている支援を振り返る意味で非常に意義のある機会でした。

（総合コロニー希望が丘しらさぎ寮 大山 敦子）



介護（援助）事故の公表基準の策定について

本事業団では寮利用者の失明事件を契機として介護事故の公表基準を策定し、平成19年1月より制定・施行しました。ここでいう「公表」とは、単に行政機関や関係者に対する報告ではなく、マスメディア、強いていえば県民に対する公表ということを指しています。

事故の公表基準となると医療分野ではよく聞かれますが、福祉分野においては事故防止に向けたマニュアルや基準は策定されているもののほとんど耳にすることはありません。これは、医療に比較して福祉サービスの専門性や科学性が整理されていないために、事故の因果関係が不明瞭であり責任性を追及する

ことが難しい側面があることも影響しているものと考えられます。

しかし、福祉の理念やサービス水準が高度化し、高い専門性が要求される時代になってきた今、社会福祉事業を行う者にとっては、事故の公表は運営の透明性を証明するための当然の責務と考えることができます。

このように過去を反省し、事業体としての責任を全うする意味からも、実際の運用にあたっては、積極的に情報開示と説明責任を果たしていきたいと考えています。なお、公表基準は事業団ホームページに掲載しています。（<http://www.ysj.or.jp>）

レキシコン

【レキシコン】
lexicon：ギリシャ語・ラテン語・ヘブライ語の辞典。

介護施設等の在り方について

国は先般、第一回「介護施設等の在り方に関する委員会」を開催した。これは、健康保険法等の一部を改正する法律の附則第二条で、介護老人保健施設及び介護老人福祉施設の基本的な在り方並びにこれらの施設の入所者に対する医療の提供の在り方の見直し等を検討することが規定されたことによる委員会設置である。今後、介護給付費分科会において審議を行うための基本的な論点の整理等を行うことを目的としている。

平成12年の介護保険制度施行時、療養型病床群は介護保険適用と医療保険適用とに別れ運営されてきたが、国によれば、療養病床には必ずしも医療サービスを必要としない利用の実態があり、利用者の増や在院日数が長いことから医療費の適正化のためにも再編成が必要と述べている。

具体的には、医療サービスの必要性の高い方を対象とする医療療養病床は存続し、一方で平成24年度末に介護療養病床を廃止し、老人保健施設等への転換

や地域ケア体制の整備を計画的に進めることとしている。この再編成を行えば医療給付費が四千億円の削減、介護給付費が一千億円の増となり差し引き三千億円の軽減が見込まれる、更に在院日数の短縮と生活習慣予防等により2025年には六兆円の抑制効果があることを国は強調している。

国の施策により介護療養病床への転換を促進され、わずか数年の運営後に、6年後廃止の方針が出される現実の中で事業者はもとより、現在介護療養病床の利用者や家族の思いはどうであろうか。退院を迫られ家族介護を余儀なくされている実態の報道も出始めている。社会保障費の抑制や財源問題の他にも介護保険三施設の役割や機能の見直しの必要性は十分理解できるが、財源問題と共に利用者や家族にとって安心して医療サービスや介護サービスを継続的に保障できる施策が必要であり、利用者不在の論議とならないよう注視していく必要がある。

全国福祉QC発表会 はばたき賞受賞

希望が丘診療所QCサークル
「血液さらさらを目指して！」
ダンベル体操1・2・3 ワン・ツー・スリー

テーマ選定理由

自分が健康であるからこそ、「利用者様が日頃感じていることを明確に受け止めること」ができ、適切な支援へとつなげられる。この理由で、「健康」をテーマとしました。

1 福祉QC活動の取り組み

①現状把握

日頃、自分の健康に対して意識が低い私たちも、生活習慣病が気になる年頃になりました。生活習慣病は、簡単な検査（血圧、BMIなど）、血液検査（血糖、総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロールなど）等で、兆候や進行を見極めることができます。

改善活動に参加した6人は、健康診断で、血糖、血圧には異常がありませんでした。このため、改善策実施前と実施後の総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、BMIの値を調べることにしました。

②具体的改善策

- イ) ダンベル体操
- ロ) 個別対策プログラム
- ハ) 食事の改善
- ニ) 専門家の指導を受ける
(運動療法士・管理栄養士)

③全体的効果

- イ) スタッフ全体に、健康に対する意識の向上が見られました。
- ロ) みんなで、励ましながらおこなうことで、継続できました。
- ハ) はけなくなっていたスカートやズボンがはけるようになりました。
- ニ) 個別プログラムを家族と一緒にすることで、家族と共有する時間が多くなりました。
- ホ) 結果が目に見え、やればできるという自信ができました。
- ト) 今回は、総コレステロールのみに着目し、目

標設定としましたが、他の3項目（中性脂肪・HDLコレステロール・BMI）についても、非常によい効果が得られました。

3 全国大会に参加して

北海道から鹿児島県まで46施設約200人が参加しました。1日目は、施設の種別別に5会場に分かれて発表をおこない、2日目は、それぞれの会場の優秀チームが全体会で発表して、最優秀賞を決める方式でした。テーマは、「ヒヤリハットシートの活用方法」から「業務のムダ・ムリをなくすこと」など、範囲が広く、事故や災害が減ったり、仕事がやりやすくなったり、職員の知識や技能を伸ばすのに役立つことが実感できました。

4 QC活動の感想

自分自身の生活習慣を修正することは、容易ではありません。いつの間にか楽な行動をしていて、「めんどうくさい」「明日からにしよう」という理屈をつけています。

これが不規則な食生活・運動不足・睡眠不足となり、高脂血症・糖尿病などの病気を誘発します。今回、QC活動をおこなって、「知恵を集めれば、楽しみながら健康になれる方法もみつけれられる」ことがわかりました。

また、今までと違う行動に意識的にチャレンジして、それがうまくいったとき、「今まで無意識にやっていた古いやり方に変わり、新しいやり方が自分の身につく実感」を体験することができました。

希望が丘診療所 鈴木弘修・齋藤美恵子
大道寺香奈子・倉田まゆみ



グループホーム及びケアホーム一覧表

(平成18年12月15日現在)

名称及び住居	所在地	定員	対象者	経費 (1人月額)			
				家賃	食費	共益費	合計
1 みやま荘共同生活事業所		(27人)					
①みやまグループホーム	西村山郡河北町己35番地	5人	精神障がい者	8,200円	25,530円	8,270円	42,000円
②みやま第2グループホーム	西村山郡河北町谷地字真木35番1号	5人	精神障がい者	20,000円	25,530円	8,470円	54,000円
③みやま第3グループホーム	西村山郡河北町谷地乙58番	5人	精神障がい者	8,200円	25,530円	8,470円	42,200円
④希望が丘河北第1グループホーム	①西村山郡河北町月山堂390番地の1 グランパレス谷地102号室、201号室	6人	知的障がい者	22,750円	25,530円	15,000円	63,280円
	②西村山郡河北町谷地中央三丁目13番地の13 コーポアルカディア101号室			21,500円	25,530円	15,000円	62,030円
⑤希望が丘河北第2グループホーム	①西村山郡河北町谷地中央三丁目13番地の13 コーポアルカディア106号室、107号室	6人	知的障がい者	20,750円	25,530円	15,000円	61,280円
	②西村山郡河北町谷地中央三丁目13番地の13 コーポアルカディア201号室			21,500円	25,530円	15,000円	62,030円
2 泉荘共同生活事業所		(13人)					
①ハヶ森荘	長井市今泉1812番地255	5人	精神障がい者	9,000円	朝食 276円 昼食 408円 夕食 473円	10,400円	19,400円 +食費実費分
②さくら荘	長井市今泉1188番地21	3人	精神障がい者	16,780円	朝食 276円 昼食 408円 夕食 473円	10,400円	27,180円 +食費実費分
③みどり荘	長井市今泉1878番地24	5人	精神障がい者	9,000円	朝食 276円 昼食 408円 夕食 473円	10,400円	19,400円 +食費実費分
3 ワークショップ明星園共同生活事業所		(8人)					
①第1ホーム	山形市青柳705番地1号	4人	知的障がい者	23,200円	17,500円	15,500円	56,200円
②第2ホーム	山形市青柳705番地1号	4人	知的障がい者	23,200円	17,500円	15,500円	56,200円
4 吹浦荘共同生活事業所		(24人)					
①吹浦荘遊佐第1ホーム	飽海郡遊佐町遊佐字京田14番地10	4人	知的障がい者	15,000円	20,000円	23,000円	58,000円
②吹浦荘遊佐第2ホーム	飽海郡遊佐町遊佐字向田31番地	4人	知的障がい者	10,000円	20,000円	23,000円	53,000円
③吹浦荘酒田第1ホーム	酒田市北新橋1丁目2番地の2	4人	知的障がい者	11,250円	20,000円	23,000円	54,250円
④吹浦荘酒田第2ホーム	酒田市上安町1丁目11番10号	5人	知的障がい者	13,000円	20,000円	23,000円	56,000円
⑤吹浦荘酒田第3ホーム	酒田市新橋2丁目24番地の16	4人	知的障がい者	17,500円	20,000円	23,000円	60,500円
⑥吹浦荘酒田第4ホーム	酒田市北新橋1丁目2番地の4	3人	知的障がい者	16,700円	20,000円	23,000円	59,700円
5 慈丘園共同生活事業所		(13人)					
①ケアホームあんず	鶴岡市友江町4番8号	4人	知的障がい者	10,000円	26,000円	11,500円	47,500円
②ケアホームかりん	鶴岡市大山字堤下2番地18	4人	知的障がい者	10,000円	26,000円	11,500円	47,500円
③ケアホームだいたい	鶴岡市大山字堤下2番地31	5人	知的障がい者	10,000円	26,000円	11,500円	47,500円
6 希望が丘東置賜共同生活事業所		(29人)					
①希望が丘東おき第1ホーム	東置賜郡川西町大字上小松2301番地の1	6人		16,000円	18,000円	12,000円	46,000円
②希望が丘東おき第2ホーム	東置賜郡川西町大字上小松3527番地	5人		12,000円	18,000円	12,000円	42,000円
③希望が丘東おき第3ホーム	東置賜郡川西町大字上小松1891番地の7	5人		10,000円	18,000円	12,000円	40,000円
④希望が丘東おき第4ホーム	東置賜郡川西町大字上小松1125番地	4人		12,000円	18,000円	12,000円	42,000円
⑤希望が丘東おき第5ホーム	東置賜郡高畠町大字山崎261番地の8	4人		15,000円	18,000円	12,000円	45,000円
⑥希望が丘東おき第6ホーム	東置賜郡高畠町大字三条目16番地2号	5人		12,000円	18,000円	12,000円	42,000円
7 希望が丘西置賜共同生活事業所		(12人)					
①希望が丘西おき第1ホーム	西置賜郡白鷹町大字荒砥乙1027番地の78 205号室	5人		40,000円	18,000円	12,000円	70,000円
	西置賜郡白鷹町大字荒砥乙1027番地の78 201号室、202号室			27,500円	18,000円	12,000円	57,500円
②希望が丘西おき第2ホーム	長井市台町4番24号	7人		27,000円	18,000円	12,000円	57,000円
	長井市台町4番24号			24,750円	18,000円	12,000円	54,750円
	長井市台町4番24号			17,000円	18,000円	12,000円	47,000円
8 希望が丘川西共同生活事業所		(27人)					
①希望が丘川西第1ホーム	東置賜郡川西町大字西大塚2407番地の4	6人		13,300円	18,000円	12,000円	43,300円
②希望が丘川西第2ホーム	東置賜郡川西町大字上小松1756番地の1	5人		9,000円	18,000円	12,000円	39,000円
③希望が丘川西第3ホーム	東置賜郡川西町大字上小松3082番地	5人		13,000円	18,000円	12,000円	43,000円
④希望が丘川西第4ホーム	東置賜郡川西町大字上小松5095番地の173	6人		12,000円	18,000円	12,000円	42,000円
⑤希望が丘川西第5ホーム	東置賜郡川西町大字中小松3081番地	5人		12,000円	18,000円	12,000円	42,000円

逆デイサービスの試み ～輝く笑顔に会いたくて～

特別養護老人ホーム
大寿荘

大寿荘では、平成17年より「逆デイサービス」を実施しています。「逆デイサービス」(以下、逆デイ)とは、その名の通り、通常のデイサービスの逆で、“施設から家庭へ”というサービスです。敷地内の荘長公舎だった小さな家をリフォームして、地名の藤田から「ふじの家」と名付け、今野看護師長を中心として数名の職員で行っています。

「逆デイ」の目的は、「何らかの理由で施設での生活を余儀なくされ、施設内で馴染めず、自分の居場所がない利用者が、より家庭に近い環境で生活することで本来の生活を実感し潤いと活気を取り戻すこと」と看護師長は話しています。また、「そうすることにより認知症の進行を少しでも遅らせることができるのでは」とも言います。

毎週2回、施設での生活に馴染めず、孤独感のある利用者4名を選び、朝から夕方までふじの家で過ごします。内容としては、午前中はふじの家の家庭風呂での入浴、畑仕事、昼食作りの手伝いなど、昼食をとり、午後はお茶を飲みながらテレビを見たり、昼寝をしたり、のんびりと過ごします。時には、ドライブに出かけたり、外食したりもします。

逆デイサービスの実施効果としては、施設内では無口で食事あまりとらなかった方が、ふじの家では楽しく話したり、食事もおかわりしたり、また、車椅子

子に乗ったまま、ぼんやりした状態が多かった方が、調理の手伝いなど活動的になり、表情もはっきりしたりと、確かな変化を感じたと、看護師長は言います。昼食の準備も、地域のボランティアの方々に来ていただき、地域とのつながりもでき、本当に家庭的な雰囲気になっています。

逆デイでは、利用者の施設内では見たことのないような輝く笑顔に会えたり、こんな作業も出来たのかという、新たな一面を見つけることができたり、日頃はゆっくり話することもできない方の昔話を聞くことができたりと、私たちも日頃見逃していることの多さにはっとさせられることが多々あります。

ただ、残念なことは、ふじの家のスペースや職員配置の問題で、4名の方にしか逆デイサービスを提供できないことです。できることなら、施設では無理な家庭的な生活を利用者みなさんに実感してもらいたいと私たちは思っています。そして、利用者一人ひとりの輝く笑顔を見てみたい、と切に願っています。

(大寿荘 五十嵐 麻貴)



▲ふじの家の前の畑を耕す利用者

▼お茶飲み話に花が咲きます



あつみ温泉 寿海荘

厳しい冬の海のうねりが生み出す淡雪のような波の花、四季折々の姿を見せる日本海。そして情緒豊かな「あつみ温泉」。冬の「あつみ温泉」のおすすめスポットは、関川しな織り・一霞焼陶芸・越沢そば打ちの体験や一本木スキー場でのスキー…そして、やっぱり温泉! ゆったり、ゆかいに楽しんではいかがでしょう。当寿海荘では、おすすめ5,000円ぽっきりコース(1/8～2/8・暖房費は含みません)、地物の鮮魚を使った鍋、ご予算に応じた増料理、各種講座(栄養12/13・健康相談1/24・リハビリ2/15・健康運動実践3/8)も準備しております。また、カラオケも無料で提供しています。お客様のご希望に添って、お部屋にこたつもご用意いたします。あたたかいおまてなしを心がけて、職員一同皆様のおいでをお待ち致しております。



山形県福祉休養ホーム
あつみ温泉 寿海荘

〒999-7204 山形県鶴岡市湯温海字湯之里88-1
TEL:0235-43-4173